



5世界は広い!

お待たせしました。赤水さんは今週から再開します。話は常陸国赤浜村（現高萩市赤浜）の長久保赤水（1717～1801）さんが数え35歳の頃、いよいよ地図作りに着手するところからです。通称「赤水図」と呼ばれる「改正日本輿地路程全圖」の完成は63歳。実際に約30年をかけた大仕事の始まりです。その姿は眞面目一本だつたようです。一族の長久保片雲（本名・源藏）さん（89）＝高萩市＝が語ります。「とにかく謹厳実直なひさでした。一日の計は鶏鳴に在り、一月の計は朔旦（一日）に在り」。赤水は鶏の鳴く声と同時に起床せず、なければ夕刻に後悔する、という言葉をいましめにしていましたから」

自宅前の街道を往来する旅人を呼び止め、土地の名前や街道を聞き、入門した名越南漢のつて（？）で

彰考館秘蔵の諸藩発行の地

図も模写。天文学の知識も身につけました。

勉強に使った「天經或問」という中国の書物が残っています。ページの端には赤水さんの書き込み。地

球とみられる円に「赤道」

一緯度、「經度即東西」な

ど書いているんです。

地図は、障子に描き込ん

でいました。タテヨコの

格子を緯度経度に見立てた

水さんは今週から再開します。話は常陸国赤浜村（現高萩市赤浜）の長久保赤水（1717～1801）さんが数え35歳の頃、いよいよ地図作りに着手するところからです。通称「赤水図」と呼ばれる「改正日本輿地路程全圖」の完成は63歳。実際に約30年をかけた大仕事の始まりです。その姿は眞面目一本だつたようです。一族の長久保片雲（本名・源藏）さん（89）＝高萩市＝が語ります。「とにかく謹厳実直なひさでした。一日の計は鶏

鳴に在り、一月の計は朔旦（一日）に在り」。赤水は鶏の鳴く声と同時に起

床せず、なければ夕刻に後悔する、という言葉をいましめにしていましたから」

自宅前の街道を往来する旅人を呼び止め、土地の名前や街道を聞き、入門した名越南漢のつて（？）で

彰考館秘蔵の諸藩発行の地

図も模写。天文学の知識も身につけました。

勉強に使った「天經或問」という中国の書物が残っています。ページの端には赤水さんの書き込み。地

球とみられる円に「赤道」

一緯度、「經度即東西」な

ど書いているんです。

地図は、障子に描き込ん

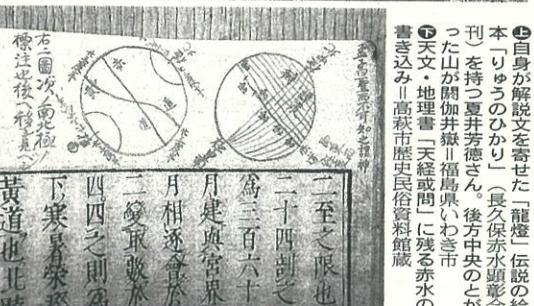
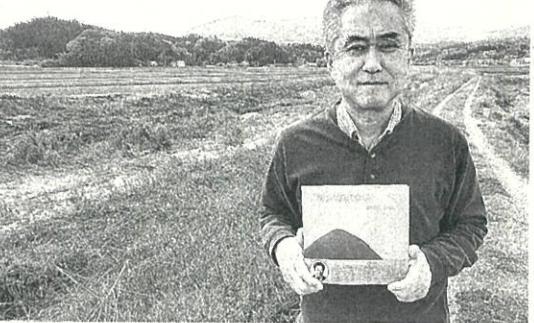
でいました。タテヨコの

格子を緯度経度に見立てた

好奇心むずむず 異人と「違法」交流

でも、単に想像で地図を描いたわけではありません。実地検証もしていません。実地検証もしていません。地図に早変わり。さぞかし妻のお順はア然としたに違いありません。

51歳の時には長崎行きのチヤンズを得ます。近村の漁師がベトナムまで漂流し、水戸藩の役人と迎えに来ます（自ら志願したという説もあります）。鎖国時代でも、江戸幕府は長崎でオランダや清（中國）と交易していました。赤水さんの好奇心がむずむずします。外国人との交流



は「違法」を承知で、清国人と漢詩作りで腕比べ、オランダ人とも親しくなり、鳥の羽のベンで書いた横書きの文を初めて見るのです。ううーん、世界は広い！赤水さん、地図作りに向けて、力こぶがいつそう大きくなるのです。（フリーライター・岡村青）

II 原則木曜の掲載です

本「じゅうのひかり」（長久保赤水顕彰会刊）を持つ夏井芳徳さん。後方中央のことが、いわき市の闇伽井嶽（標高605m）に登ります。夜に登って実際に見て、翌日の昼にも。「昼に登ったのは発生原理を探ろうとしたようです。その好奇心、学究心たるや相当なものですね」

51歳の時には長崎行きのチヤンズを得ます。近村の漁師がベトナムまで漂流し、水戸藩の役人と迎えに来ます（自ら志願したという説もあります）。鎖国時代でも、江戸幕府は長崎でオランダや清（中國）と交易していました。赤水さんの好奇心がむずむずします。外国人との交流

て川をさかのぼる不思議な光「龍燈」を見ようと、いわき市の闇伽井嶽（標高605m）に登ります。夜に登って実際に見て、翌日の昼にも。「昼に登ったのは発生原理を探ろうとしたようです。その好奇心、学究心たるや相当のものです」